

アレルギー疾患にかかる県民の実態調査結果

1 調査目的

アレルギー症状や診療状況等について調査を行い、県民の皆様のアレルギー疾患の現状を把握し、アレルギー疾患対策の取り組みに活用することを目的とした。

2 調査実施時期

平成30年6月

3 県政モニター数

(1) 一般モニター (郵送によるアンケート調査)	248人
(2) インターネットモニター (メールによるアンケート調査)	150人
合計	398人

4 回答数

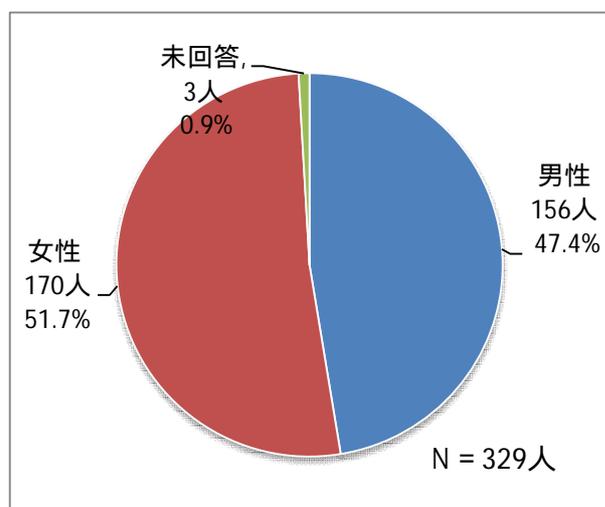
(1) 一般モニター (郵送によるアンケート調査)	206人
(2) インターネットモニター (メールによるアンケート調査)	123人

合計 329人
回答率 82.7%

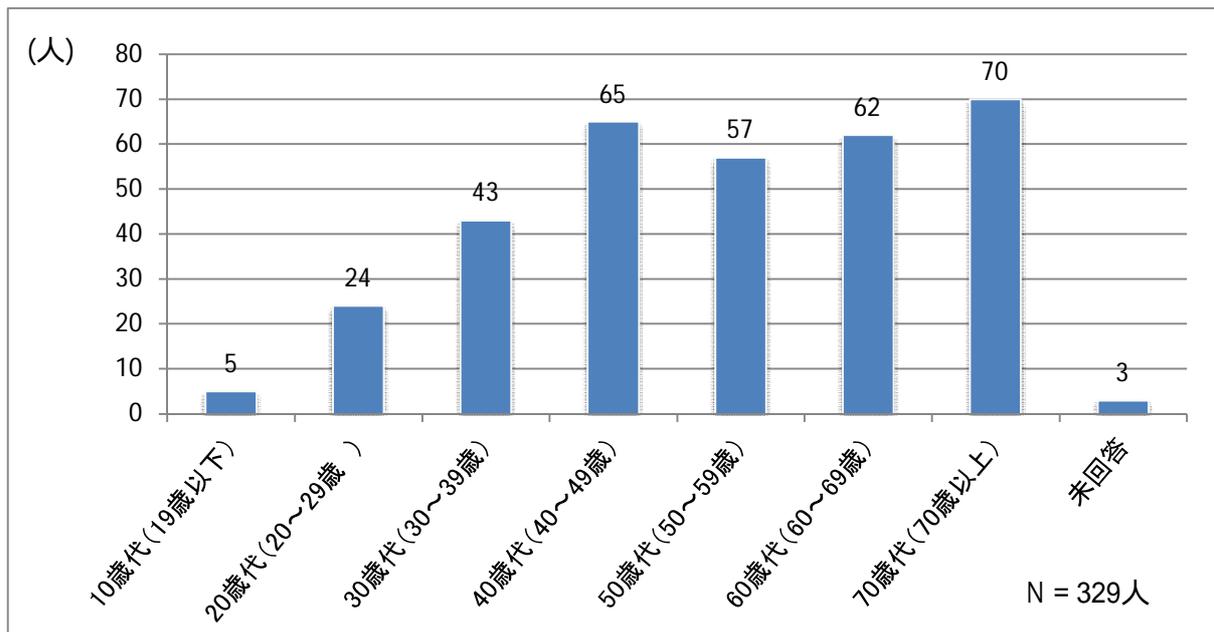
* 集計の百分率は小数第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

5 回答状況

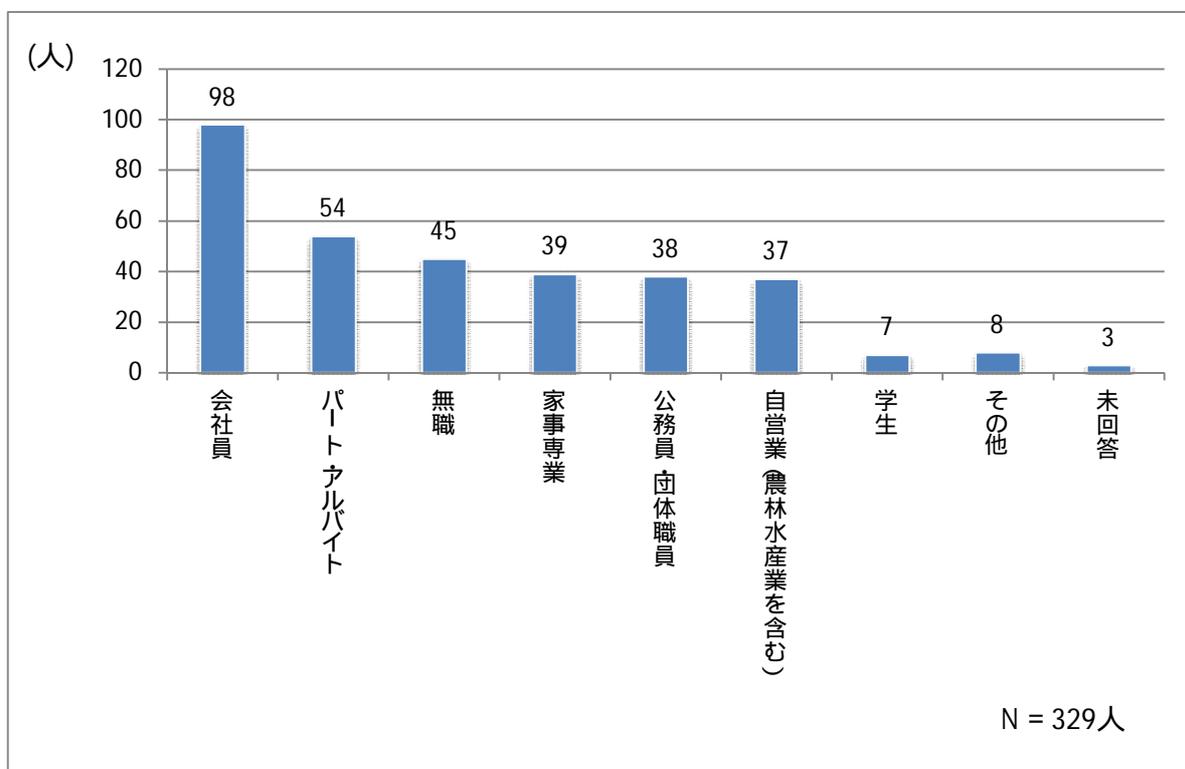
1. 回答者の性別



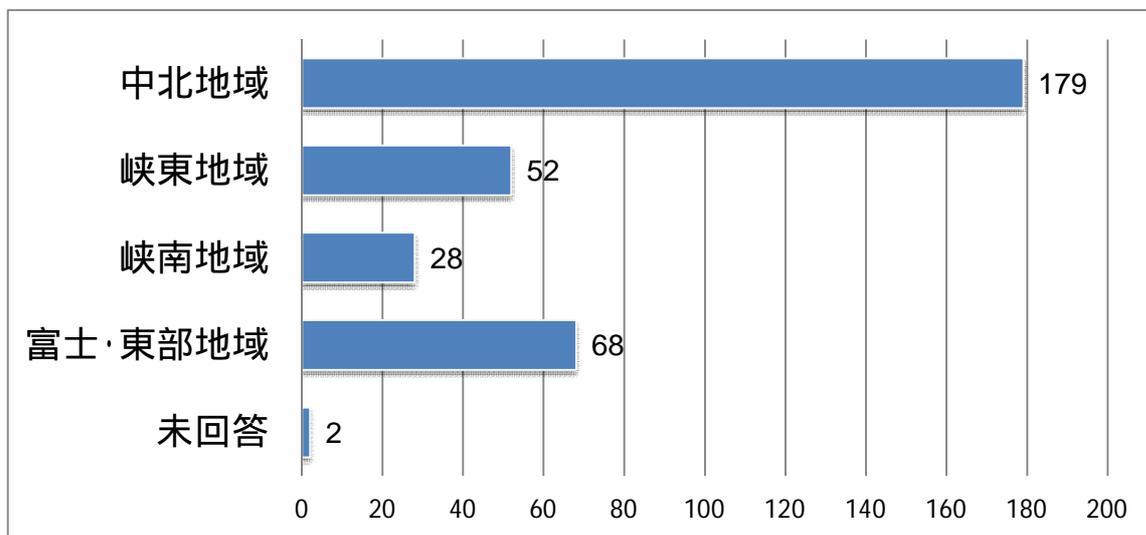
2. 回答者の年齢



3. 回答者の職業



4 . 回答者の居住地域



中北地域（甲府市・南アルプス市・甲斐市・中央市・韮崎市・北杜市・中巨摩郡）

峡東地域（山梨市・笛吹市・甲州市）

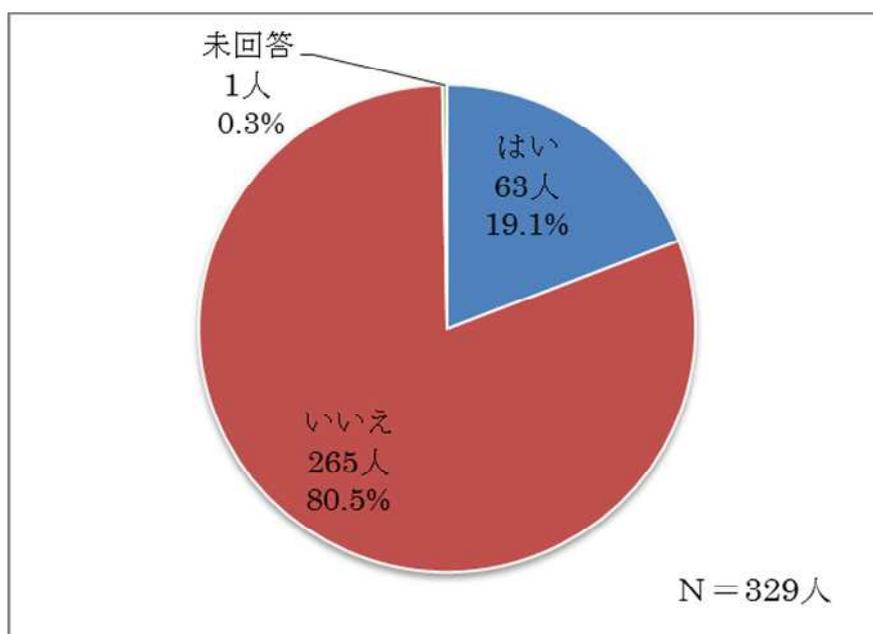
峡南地域（南巨摩郡・西八代郡）

富士・東部地域（富士吉田市・大月市・都留市・上野原市・南都留郡・北都留郡）

【 アレルギー疾患について】

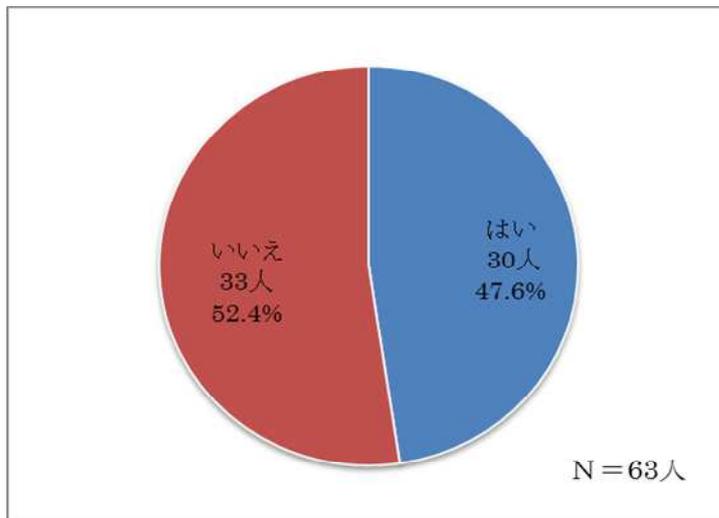
気管支ぜん息

【問1】これまでにゼーゼー・ヒューヒュー、咳が長引く等の症状がありましたか。
(1つ選択)

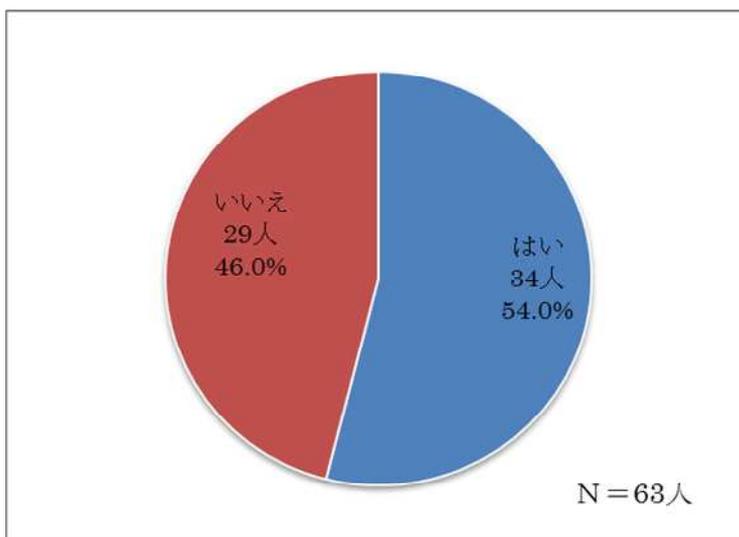


*問2～問5は問1で「はい」と回答した63人の回答結果

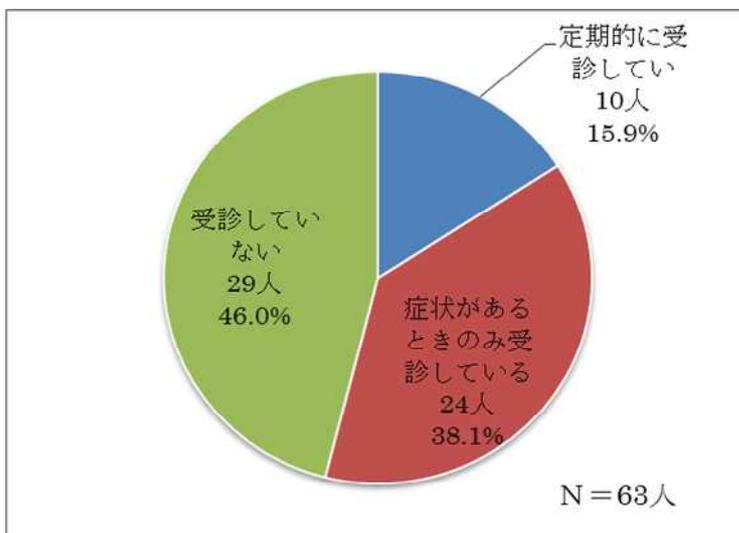
【問2】最近一年以内に症状はありましたか。(1つ選択)



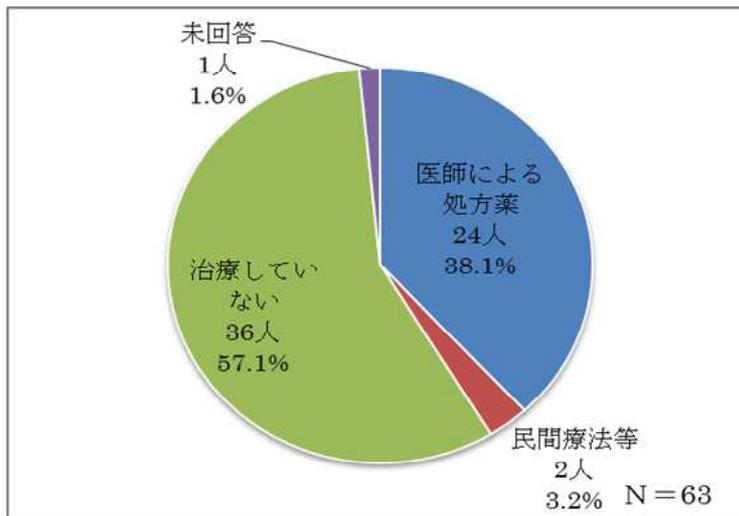
【問3】「気管支ぜん息」と医師の診断を受けたことはありますか。(1つ選択)



【問4】現在、医療機関への受診はしていますか。(1つ選択)

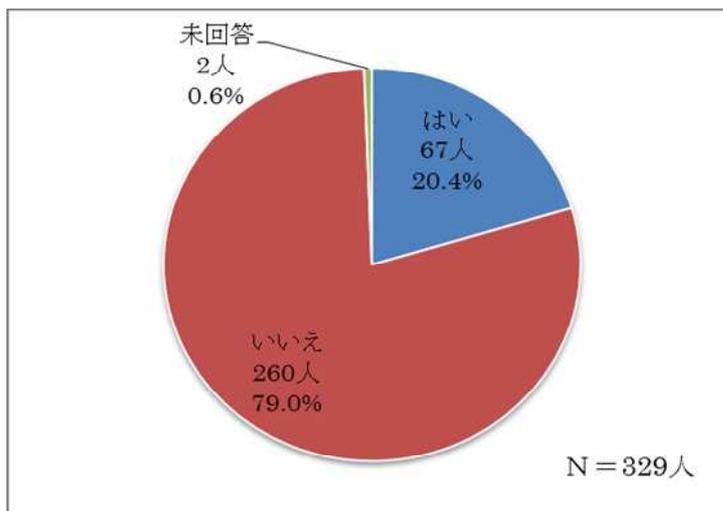


【問5】現在の治療内容を教えてください。(1つ選択)



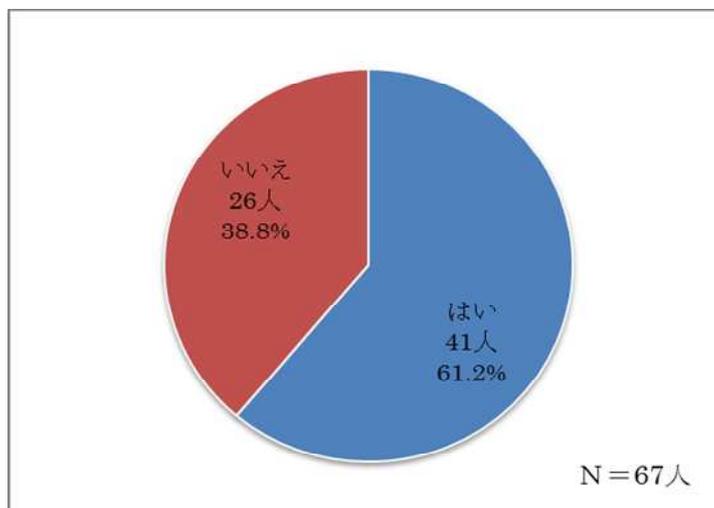
アトピー性皮膚炎

【問6】これまでに慢性的なかゆみを伴った湿疹等の症状がありましたか。(1つ選択)

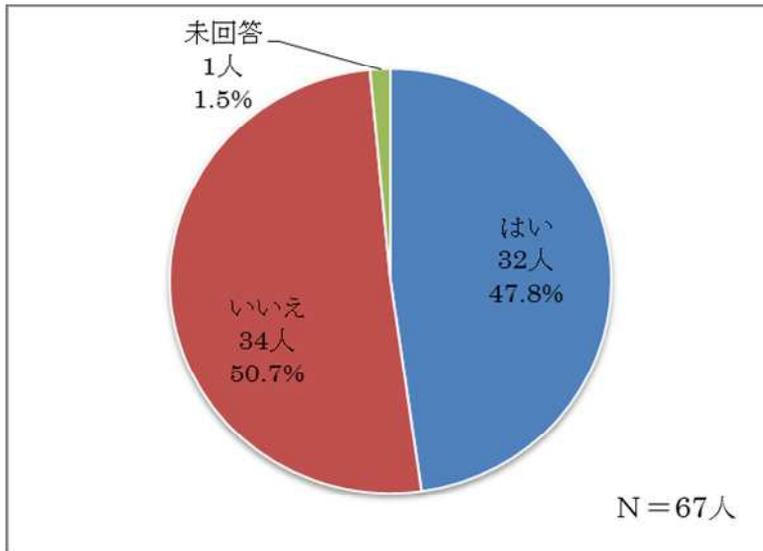


*問7～問10は問6で「はい」と回答した67人の回答結果

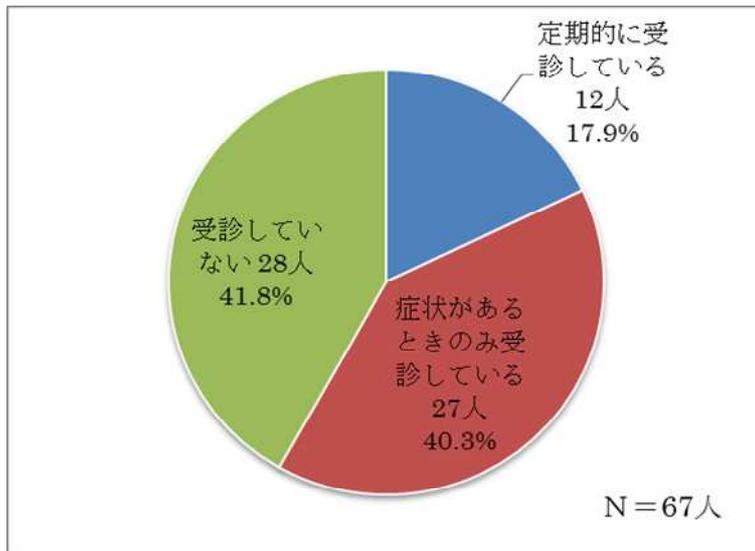
【問7】最近一年以内に症状はありましたか。(1つ選択)



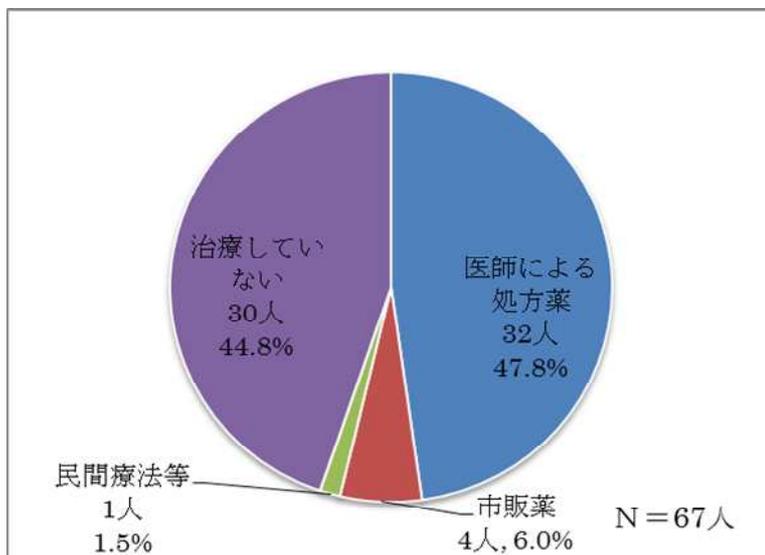
【問 8】「アトピー性皮膚炎」と医師の診断を受けたことはありますか。(1つ選択)



【問 9】現在、医療機関への受診はしていますか。(1つ選択)

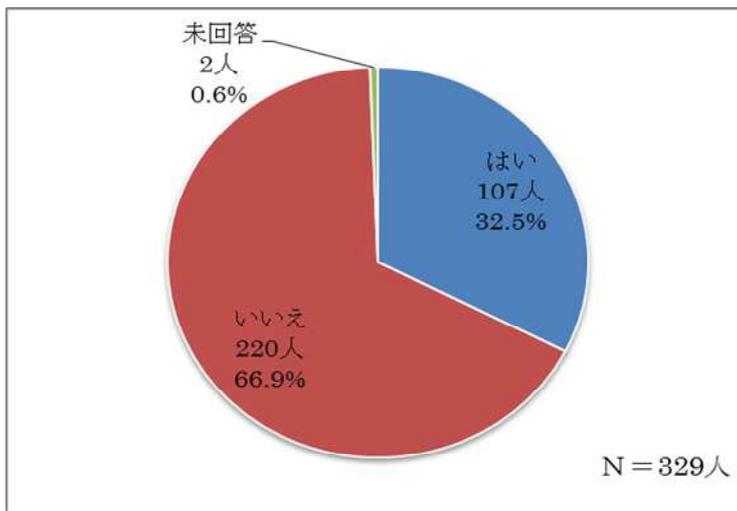


【問 10】現在の治療内容を教えてください。(1つ選択)



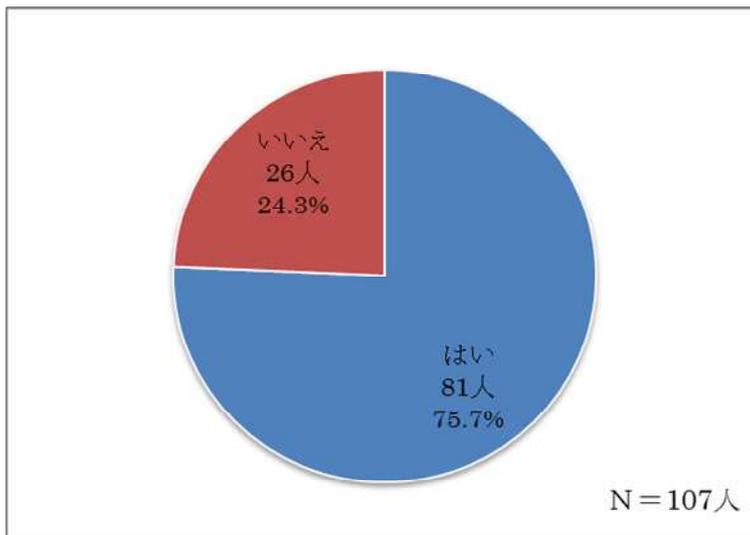
アレルギー性鼻炎

【問 11】 これまでに花粉以外（ダニ、埃等）による鼻炎（鼻水、鼻づまり）等の症状がありましたか。（1つ選択）

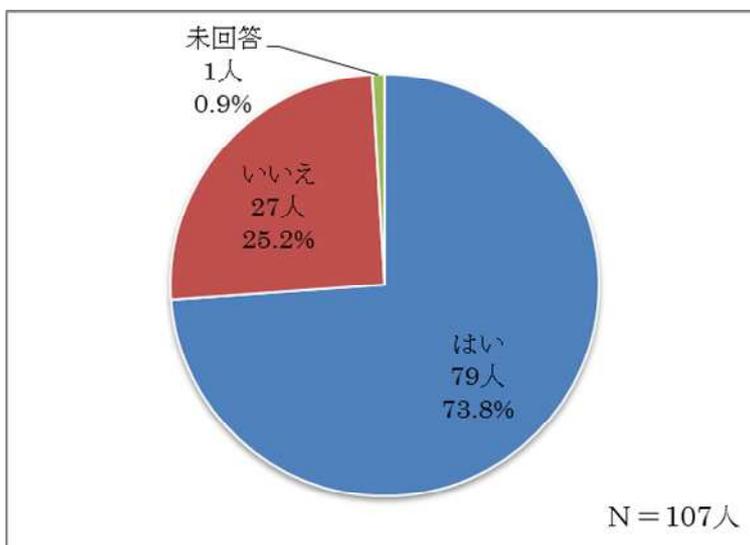


*問 12 ~ 問 15 は問 11 で「はい」と回答した 107 人の回答結果

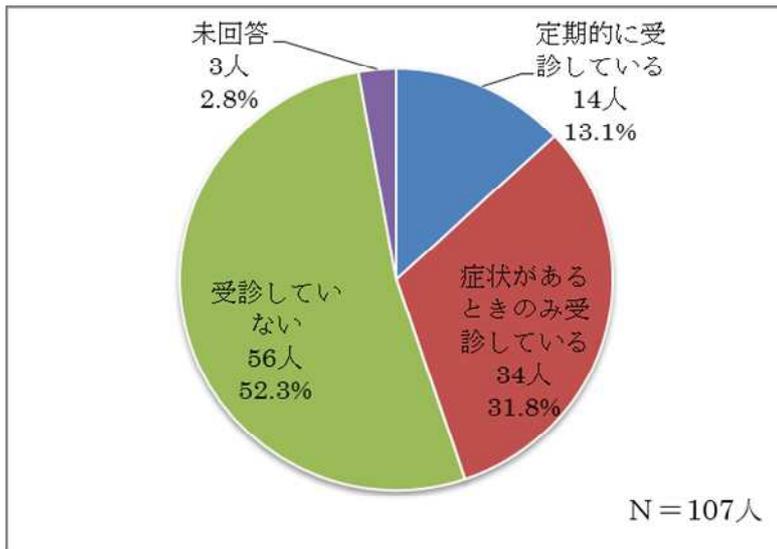
【問 12】 最近一年以内に症状はありましたか。（1つ選択）



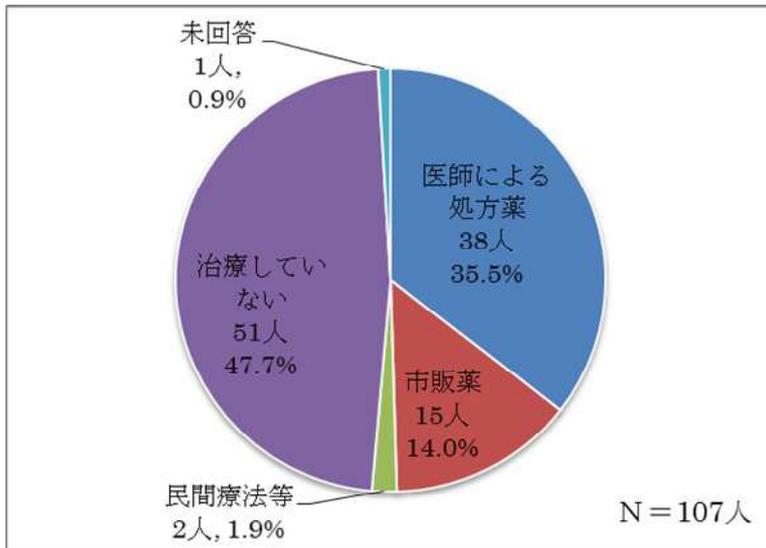
【問 13】 「アレルギー性鼻炎」と医師の診断を受けたことはありますか。（1つ選択）



【問 14】現在、医療機関への受診はしていますか。(1つ選択)

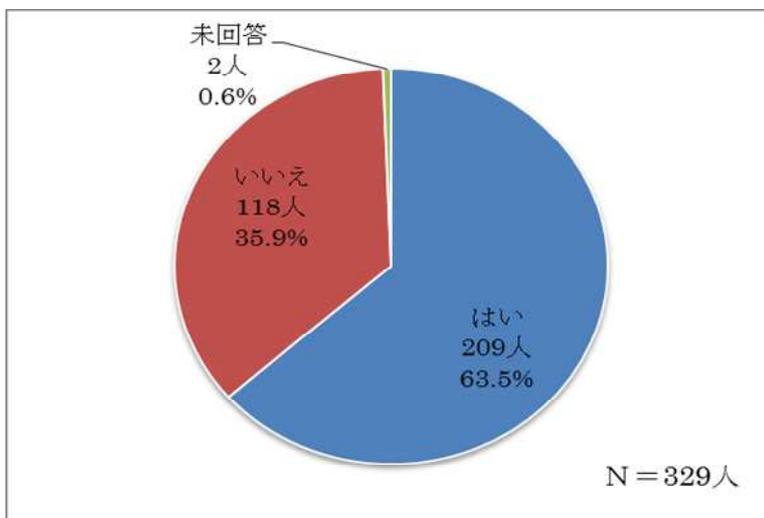


【問 15】現在の治療内容を教えてください。(1つ選択)



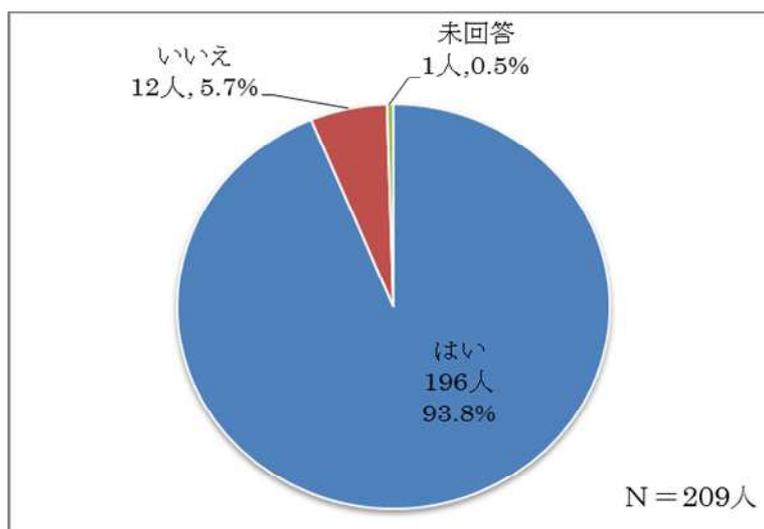
花粉症

【問 16】 これまでに花粉による症状（鼻水、鼻づまり、目のかゆみ等）がありましたか。
（1つ選択）

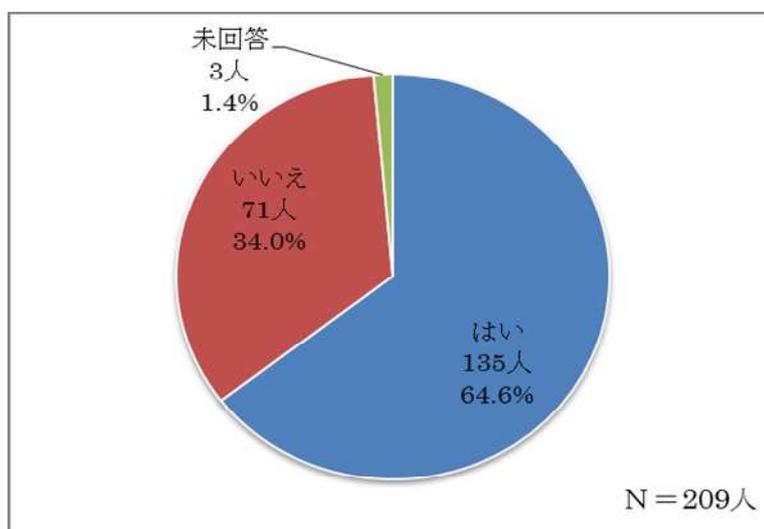


*問 17 ~ 問 20 は問 16 で「はい」と回答した 209 人の回答結果

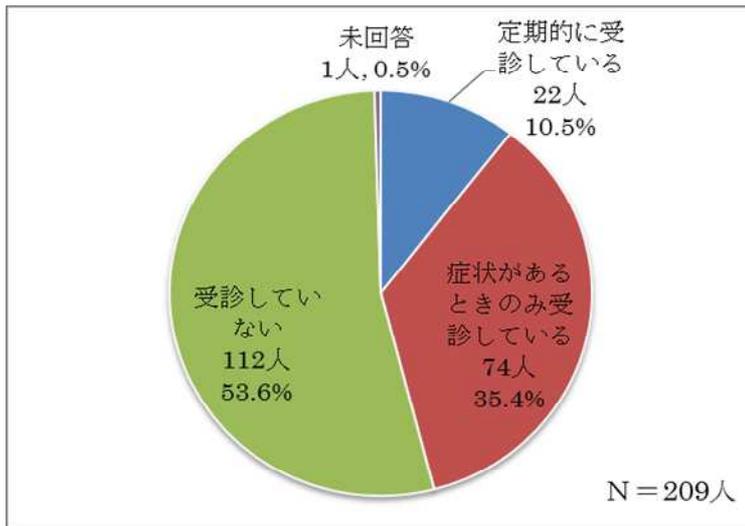
【問 17】 最近一年以内に症状はありましたか。（1つ選択）



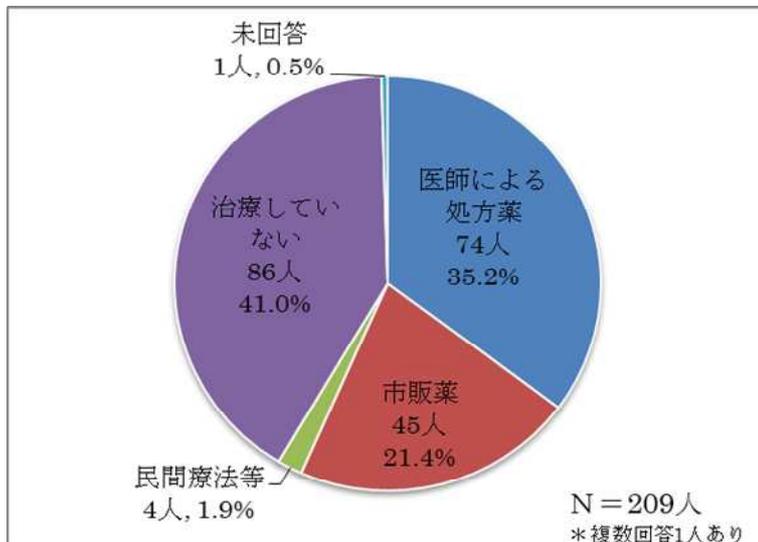
【問 18】 「花粉症」と医師の診断を受けたことはありますか。（1つ選択）



【問 19】現在、医療機関への受診はしていますか。(1つ選択)

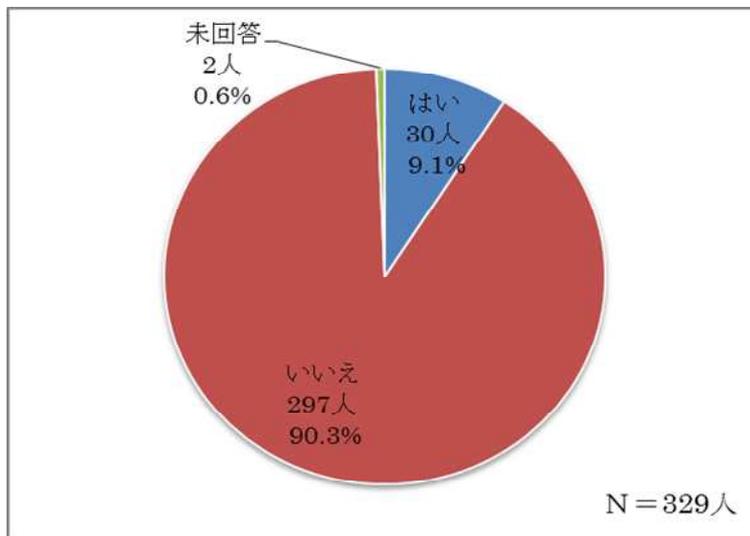


【問 20】現在の治療内容を教えてください。(1つ選択)



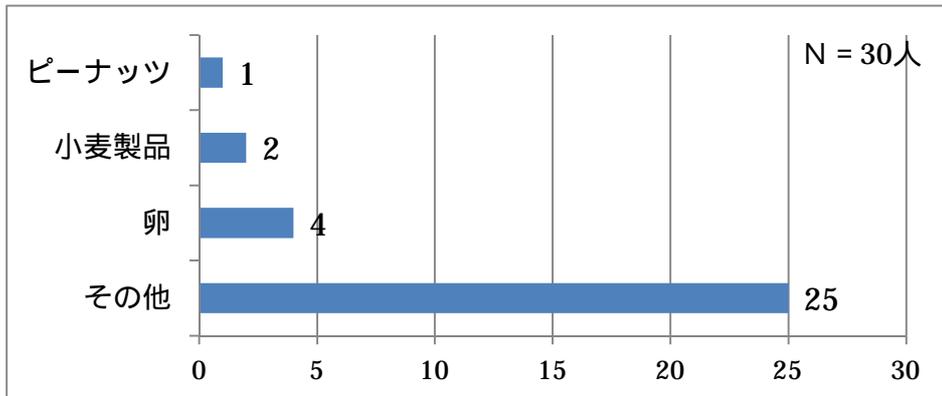
食物アレルギー

【問 21】これまでに食物でアレルギーを起こしたことがありますか。(1つ選択)

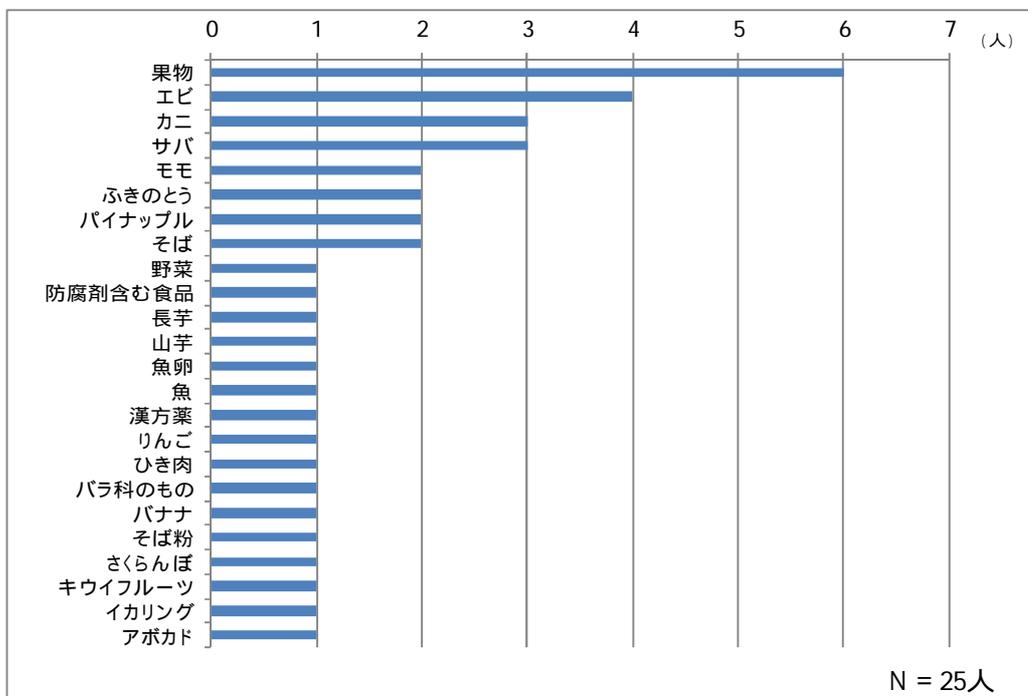


*問22～問24は問21で「はい」と回答した30人の回答結果

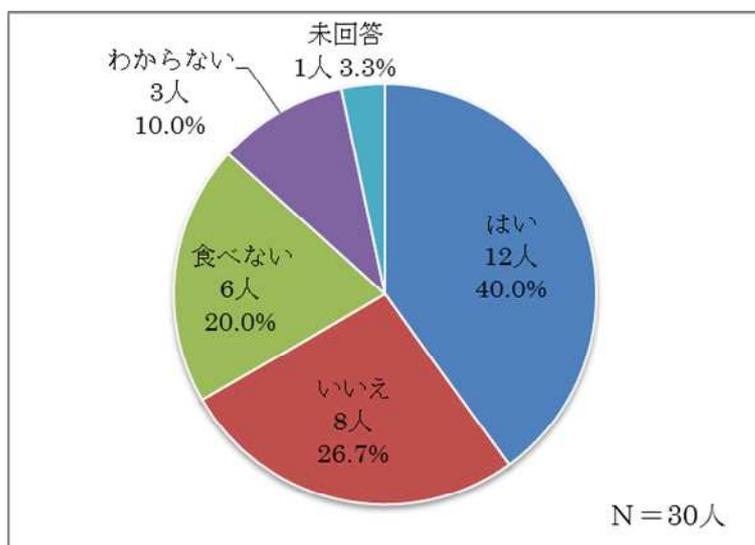
【問22】 これまでにアレルギー症状を起こしたことがある食物で該当する番号を全て選択してください。(複数回答)



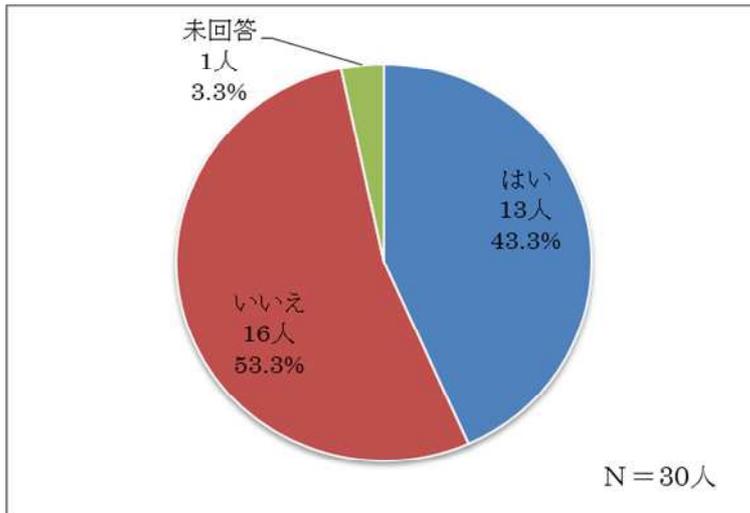
【問22】 その他内訳 (複数回答)



【問23】 今も食べると症状が起きますか。(1つ選択)

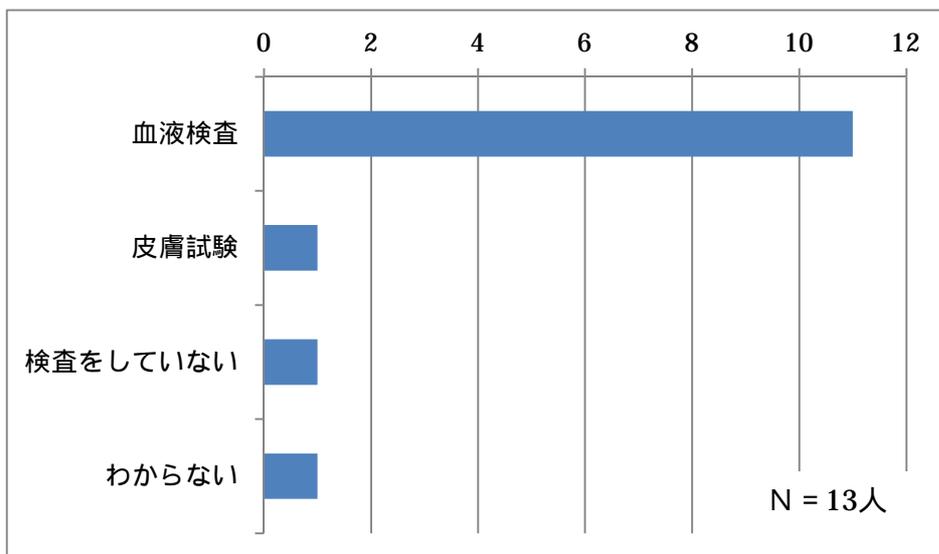


【問 24】食物アレルギーを医師に診断されたことはありますか。(1つ選択)



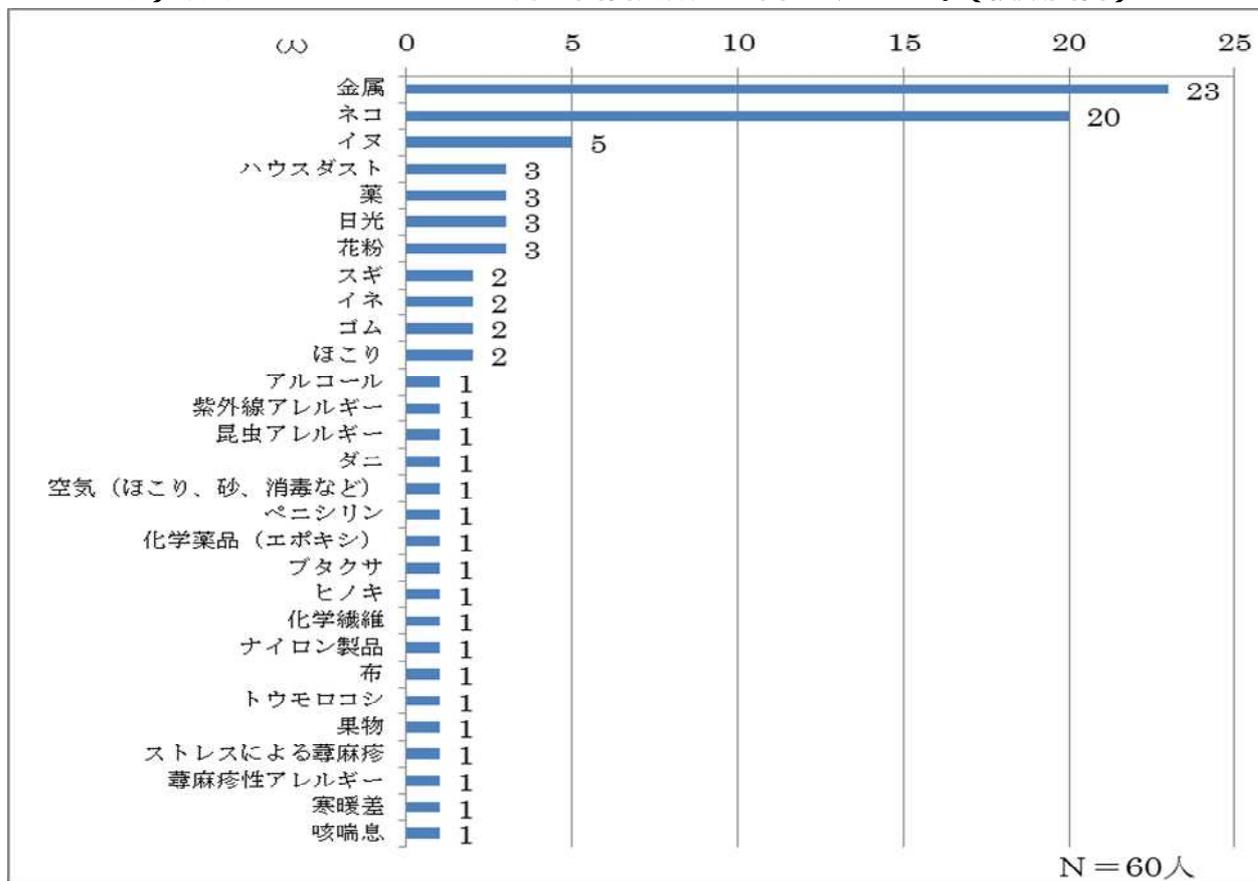
*問 25は問 24で「はい」と回答した13人の回答結果

【問 25】食物アレルギーの診断を受けた際に、実施した検査はありますか。該当する番号を全て選択してください。(複数回答)



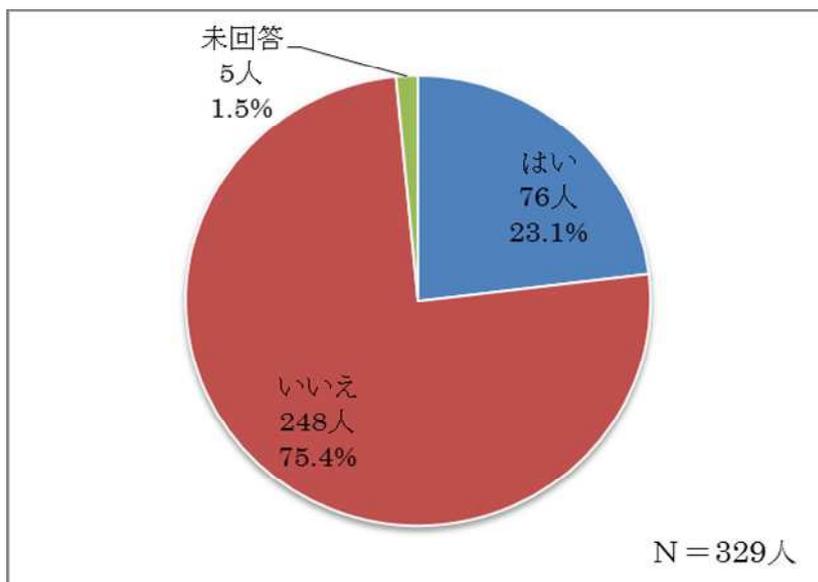
その他アレルギーについて

【問 26】 これまでにお伺いした、アレルギー（ぜん息、アトピー、花粉症、食物アレルギー等）以外にアレルギーがある方は回答用紙にお書きください。（複数回答）



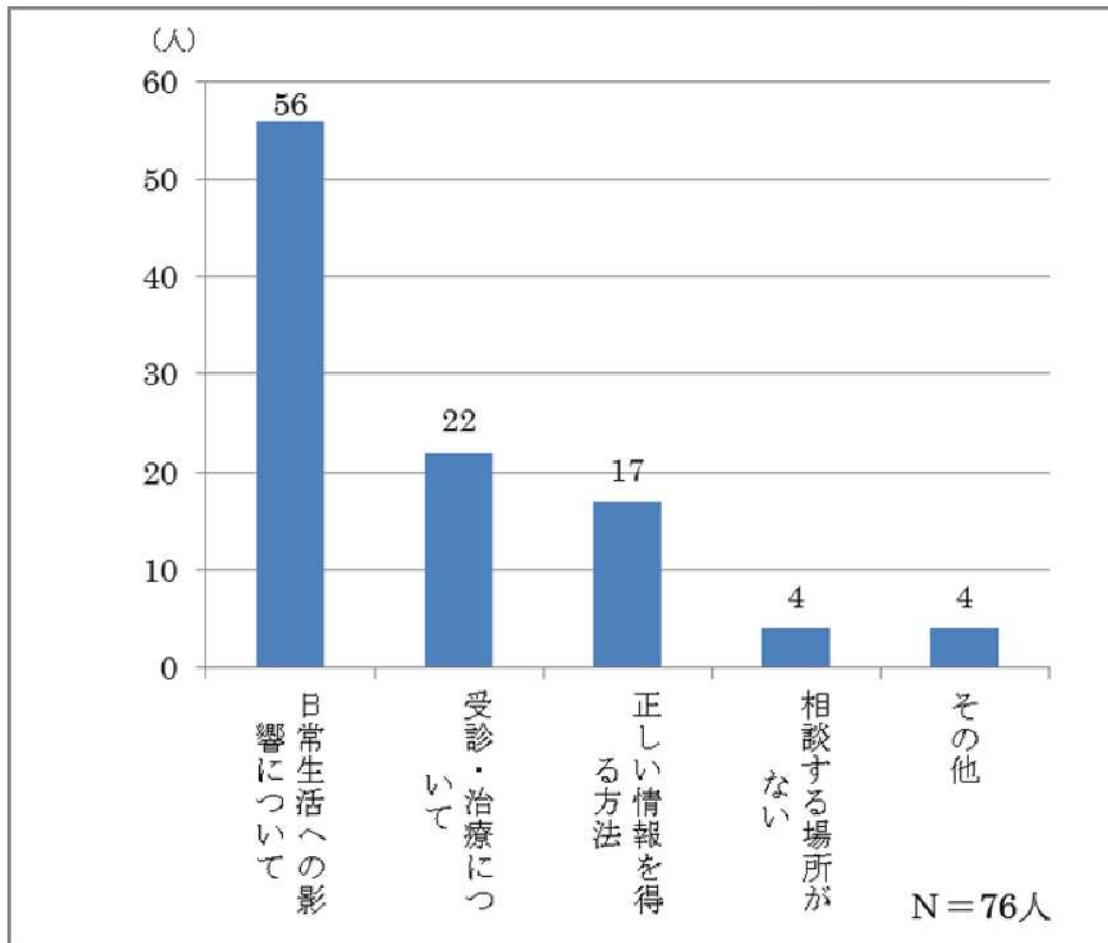
【 アレルギーに関することについて】

【問 27】 アレルギーに関して困っていることはありますか。（1つ選択）



*問28は問27で「はい」と回答した76人の回答結果

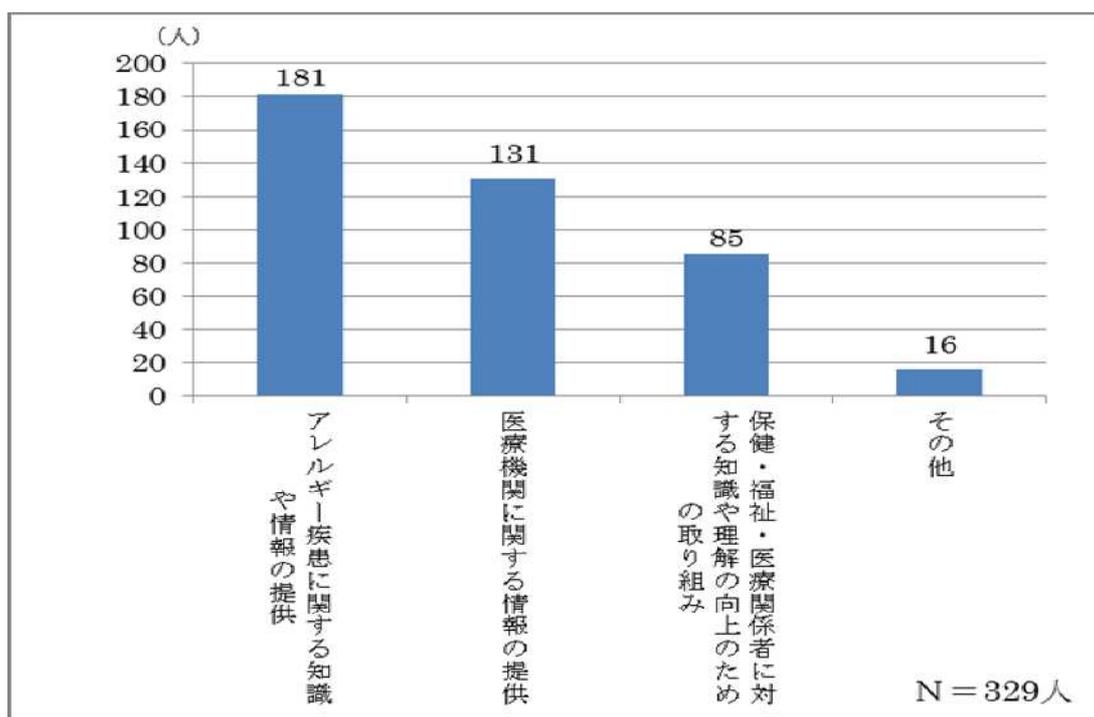
【問28】困っていることはどんなことですか。該当する番号を全て選択してください。



【問28】その他の内訳

- ・ 10年位服薬しているが、1日1回飲まないと発疹する。
- ・ 金属アレルギーのため、時計やピアスがかゆい
- ・ 子どものアレルギー、花粉症
- ・ 治らない

【問 29】県に対して希望することはありますか。該当する番号を全て選択してください。



【問 29】その他の内訳

【情報発信】

- ・アレルギーに関する情報は、いろいろな所からかなり発信されていると思います。(少し過剰すぎて、混乱しています。) 新たな情報(新たな症状や新しい対応策や薬等の情報)が得られた場合、発信できるような体制を整備してほしいと思います。
- ・アレルギーに困っている人があまりにも多い。

【相談体制】

- ・隣の幼児がアトピーで身体中の湿疹で大変そう、お母さんが悩んでおられる。二、三ヶ所の医院に診てもらっているとのことですが、「大きくなれば自然に治る。」とか「ステロイド系のクスリは良くない」と言われるばかりで、適切な治療が受けられないとのこと。アレルギー全般の相談所があればいいと思っています。

【予防対策】

- ・事後対策よりも事前の対策に力点をおくべきである。
- ・予防法を知りたい

【医療体制】

- ・アレルギー専門の医療機関の設置
- ・医療の補助。"
- ・郡内では専門医、病院が少ない
- ・医療機関や医師数、救急医療体制の充実。

【アレルゲン対策】

- ・花粉症に関して、杉やヒノキなど 間伐できる樹木はなるべく間伐して山の手入れに力を注いでほしい。
- ・原因物質の除去
- ・杉の花粉が出ないような取り組みは、無いのでしょうか。
- ・杉の木を減らして欲しい。
- ・スギ、ヒノキなどの花粉症の原因になる木の手入れ

【その他】

- ・まず、アレルギーありきでの問題提起に問題があると思います。

【 その他】

【問 30】山梨県のアレルギー疾患対策について御意見やご要望等がありましたら、回答用紙に自由にお書きください。

情報発信【情】・相談体制【相】・医療体制【医】・アレルゲン対策【ア】・その他【他】

年代	性別	ご意見・ご要望
20歳代	女性	母が重度のアレルギーで、スーパーなどの食品には最近アレルギー表示がされているのでとても助かりますが、ご飯を食べに行くメニューにアレルギーなどの表示がなくて毎回聞かなければいけないので大変です。アレルギー専門の病院が増えてくれると助かります。【医】
30歳代	男性	いろいろな病院に行きましたが、治りませんでした。病院の評価は当てになりません。何を信じたら良いかわかりません。【医】
		公共の場で使用する物の材質を可能な限り表示する。【情】
	女性	子ども(2歳)がぜん息・アトピー・アレルギー性鼻炎のような症状があります。複数の小児科にかかりましたが、それぞれの診断が異なり、どの治療を選べば良いのか悩みます。子どもは自分の身体のことについて話ができないので、アレルギー症状と、どう向き合えばいいのかわかりません。子育て中の親向けに、もっとアレルギーに関する知識・情報を発信して欲しいと思います。また専門医の紹介だったり、相談窓口を設けて欲しいと思います。【相】
		アレルギーは多種多様になっていると感じる。子どもの友達が家に来ても、何も出せない。水アレルギーの人もいると聞いた。少人数でもアレルギーを起こした原因については、項目を一覧にして欲しいと思う。【情】
40歳代	男性	スギの木を減らして下さい。【ア】
		減感作療法など、最新の治療法について知りたいです。【情】
		山梨県の対策について考えたことがなかったのですが、何ができるのですか？アレルギーに対して、自分で体質改善や医師にたよるしかないと思っていました。都内や県外から山梨に来た方が、山梨は花粉がすごいから大変と何人かから聞いたことがあります。何か対策の取り組みををしていただければ、とてもありがたいです。【ア】
40歳代	女性	アレルギーは軽度の場合、病院に行くべきか迷います。どの程度であれば行くべきか案内があると助かります。【情】
		スギ花粉シーズン時は夜遅くまで受診できる医療機関を設けて欲しいです。【医】
40歳代	男性	スギ等の植樹対策【ア】
		食物アレルギーや皮膚アレルギー、花粉症等、昔はあまり無かったのに現代においては割とポピュラーな病気(症状)となっています。まずは県や国がその根本的な原因を究明する事が急務なのではないでしょうか？ そのうえで対応策を見出していき、治療等を施していくべきだと思います。【ア】
	女性	アンケートに答えるに当たって、県のホームページでアレルギー対策について拝見しましたが、まだまだ情報が少ないと感じました。様々なアレルギーについての情報や医療機関についての情報など県民に身近な情報を提供していただきたいです。【情】

		スギ、ヒノキの伐採【ア】
		花粉が多いのか、年々悪化しています。 子供も花粉症が酷くて学校を休む事もあるほどで、ぼーっとして、勉強に身が入らない様子ですので治してあげたいのですが、難しいです。 てんかんがあるので使える薬が限られており、ほとんど効きません。【医】
		花粉症の症状を今年から発症しました。近年花粉症発症する方が増加中とも聞いたことがあります。原因や対策を県民に周知するため医療機関や自治体に働きかけてもらいたい。【情】
		空気も水もきれいで、生活しやすいです。 しかし山梨に引っ越してから、花粉症が再発しました。 花粉の量は多いのだと思います。小学生の子供がいますが、子供達も花粉症が多く、春は花粉用のメガネをかけている子を多く見かけます。【ア】
		幸い命にかかわるようなアレルギーはありませんが、鼻炎には悩まされています。特に花粉症の時期は毎日、服薬するのも負担ではあります。根本的に治ればいいのにと希望はあります。県の施策としては難しいのかもしれませんが、アレルギー治療の研究を進めるための助成など、症状緩和ではなく根本治療の研究が進むようなところに助力していただければと思います。【医】
		山にあるスギやヒノキを伐採し、花粉のない木を植える。【ア】
		山梨の 林野を有効活用するべく、檜や杉の木を間伐して花粉の飛散量を減らしてほしい。【ア】
		自分が何にアレルギーを持っているのかをどこで効率良く検査できるのか、又日頃の対処法など話を聞いてくれるところが欲しいです。【相】
50歳代	男性	今のところアレルギーに関わりがないので、知識や情報がほしいです。【情】 食物アレルギーではないので、個人で対応できるので特にありません。
	女性	アトピーについて正しい治療の方法ステロイド以外のものを勉強して欲しい。経皮毒についても【医】
		アレルギー疾患が低年齢化している傾向にある今、受診が継続されず、一時的であったり、ひどい時だけであったりする事もあるので健診で必要に応じてより指導したり、小児科医と連携して定期受診できる流があればよいのだが(主に親の意識の違いがあると思うが...)【医】
		ストレスも関係がある皮膚疾患、自分自身で貯めない努力も必要。裏に耕作放棄の畑、家主は精神疾患と病気、借金苦で老人ホームに入院中。ブタクサなど花粉症が年々ひどくなり、勝手に草も枯れず、今更きれいにしたくてもお金がかかり、家主は親類からも嫌われて代金請求できず、そのままヘビや動物がいそうなくらい草ぼうぼう、県で町村でも誰か処理できるシステムを作って下さい。【ア】
		とにかく、まわりが山だらけなので、春になるのが憂鬱です。【ア】
		引越で住む所がかわると花粉症が軽くなったりしたこともあり、花粉症+大気的狀況でずいぶん症状が変わると思います。環境をきれいに整えていくような取組をお願いしたいです。大気汚染の軽減、森林伐採の帽子、車の排気の軽減など【ア】

		<p>家族が花粉症で1月頃から4,5月頃まで症状に悩まされる。原因はスギ、ヒノキ、カンノキ。疾患の原因への対策をしていただきたい。【ア】</p> <p>花粉症、食物アレルギーの子供がともに増えていると思います。環境によるものなのか、食生活なのか原因の究明と改善が必要と思います。大人も花粉症で苦しんでいる方がたくさんいます。花粉が飛散しない環境整備を望みます。【ア】</p> <p>近年、子どものアトピー、花粉が多くなっているように思います。専門の病院があると嬉しいと思います。我が家は25年位前に気管支ぜん息で大変でした。その頃は専門医も少なく、小児科の先生に大変助けていただきました。【医】</p> <p>病院ではなく、他の施設でアレルギーについての相談や検査ができると助かります。【相】</p>
60歳代	男性	アレルギーが無いので、本アンケートの回答にはなりませんでしたが、内容を見て県の取り組みを理解できました。
		アレルギー検査の助成があると、良いと思います。【他】
		過去と比較しアレルギーの種類症状が増加することに不安を感じます。
		各地域の広報やCATVを利用した、アレルギー疾患対策についての情報提供【情】
		杉、ヒノキ、ブタクサなど、原因物質を減少・除去できる山林作りをめざしていただきたい。【ア】
	女性	アレルギー疾患に詳しい専門の保健師が役所にいたら色々相談できていいですね。【相】
		一人ひとり症状が違い難しいけれど命に関わる事なので慎重に対処してほしい。【医】
		花粉症の原因となる森林などの整備を希望します【ア】
		郡内地方では専門病院が少ないため大変困っている。郡内は不便なところです。【医】
		幸いにも私はアレルギー関係の疾患はありませんが、いつなるか分かりませんので、3月から5月頃までは心配しています。家族にアレルギーに苦しんでいる人がいますが見えていても大変です。何かいい方法はと毎年毎年思います。山梨県も杉の木について検討していただきたいと思います。【ア】
		子どもが小さい時は、アレルギー性皮膚炎、ぜん息、ネコアレルギー、食物アレルギーを経験し、その度に病院にかかりましたが、成長するとともに症状は良くなりました。今は昔以上にアレルギー疾患が多く、生命への危険がともなう場合もあるので、対応が必要だと思えます。また、そういう人がいると言う知識や理解も必要だと思えます。【医・情】
		子どもに食物アレルギーがあります。スーパー等で食品を購入する際にアレルギー表示が分かりにくいものがあります。改善して欲しいです。【情】
		子育て機関である保育園、学校給食の冷凍食品、化学調味料の使用についての知識、理解を向上するための栄養士の教育をもう少し充実していただきたい。子ども達が毎日いただく給食なので、もちろん家庭での食育も注意したいと思います。【情】
		体力、免疫力をつけなるべく症状を軽くする。無駄な外出は避ける。自分に合ったことを取り入れる。

70歳代	男性	私の妻や孫など、圧倒的にスギ、ヒノキなどの花粉症が多い。山梨県(甲府市)の山を見るといまだにスギ、ヒノキのたぐいの植林している。広葉樹に変えていくべきでしょう。ブタクサ等外来植物が繁茂している放置された空き地が多い。徹底した除草を住民と一緒にやってはどうか。【ア】
		この調査をするまでは、アレルギー疾患がないために関心がなかったが、花粉症に悩んでいる人を知って、その対策に必要性を感じている。しかし花粉症のように時期が過ぎると関心が薄れてしまうものもある。対策としては住民健診時に取り上げ、住民の共通課題として捉えておくことが必要と思われる。【他】
		温度差でたまにくしゃみと鼻水が出るが困るほどではない。
		咳が止まらず困っている。いつも原因不明と言われ、咳止めをもらう。今後不安。県へは全般を強める対策をお願いしたいと思う。医療検査機器は機能が上がっているが結果を判定する医師、技術者の能力が追いついているのか疑問です。【医】
		現在の子供達の食生活がアレルギーに影響している事が考えられる【他】
		山梨県は山林が多いので、花粉の少ない樹木に植え替える事を至急すすめる。山林草地などでダニや害虫の駆除を行う。【ア】
		疾患に対する知識・情報の提供と関係機関(特に医療機関)等に総合的対策の強化を望みます。【医】
		春だけで現在は花粉症状はありません。
	女性	赤ちゃんの時にアレルギーが出るか出ないか心配しているだけで、判明すれば一安心する。
		アレルギーのある本人や親が周囲に知らせておくことで、食べ物による事故などを防ぐことができると思います。【情】
		花粉症に悩まされる人が多いです。あまり売薬に頼らず、正しい知識を持つための情報も必要かと思います。【情】
		私の周りでも、アレルギー疾患に悩む人が年々増加している傾向にあります。しかし患者数の多さの割には、アレルギー専門医が不足していると思います。特別な病院に出向かなくても、一般病院やかかりつけ医での治療で改善に向かえるように、専門医との連携が急務であると実感しております。【医】
		私の周りにもアレルギー疾患のひとがたくさんいます。生活環境の悪化でいるんな違った症状が出ているので専門の医療機関が情報を積極的に県民に流して欲しい。【情】
		春はアレルギー疾患で5月まで薬を飲まない日常生活が大変です。又、9月に入ると咳ぜん息にも悩まされ、ほぼ一年中この街にいると苦しい思いをしています。医療の方ももっと病院等で薬を出すだけでなく助けて欲しいです。【医】
昔、春先の陽射しに当たると顔や手に湿疹が毎年続きましたが、いつの間にか治りました。色々なアレルギーの種類が多くありますが、原因と予防が知りたいと思います。【情】		
毎年、花粉に悩んでいます。杉、檜の伐採に力を入れて欲しい。【ア】		

不明	不明	市町村で行う健診でアレルギー疾患に関する事も行ったら良いと思います。 アレルギーが判らないでいる人も多いのではと思いますので主だったものだけでも検査する事が出来たらアレルギー対策がしやすくなると思います。【他】
----	----	--